令和6年度第1回 越前市地域公共交通会議

議 事 次 第

日 時 令和6年5月28日(火) 午前10時から
会 場 越前市役所 ｅホール

1 新任委員紹介

2 あいさつ

3 報告事項

市民バス･デマンド交通実証実験の利用状況について 【P3】

4 協議事項

(1) 坂口地区における自家用有償旅客運送事業について 【P11】
(2)越前たけふ駅シャトルバスにおける運賃及びダイヤの変更について 【P19】

5 その他

(1) ライドシェアの実証について 【P21】
(2) 地域公共交通計画の策定について 【P24】
(3) その他

令和6年度第1回越前市地域公共交通会議　委員名簿

委 員 名 簿（令和5年7月1日から令和7年6月30日まで）

氏名	所属	役職	
三寺　潤	福井工業大学	教授	
福岡　豊子	越前市民生委員児童委員協議会連合会	理事	
加藤　靖之	武生商工会議所	議員	
武田　眞一	越前市いきいきシニアクラブ連合会	副会長	
山本　典孝	福井県立武生東高等学校PTA	副会長	
安久　泰弘	一般社団法人武生青年会議所	副専務	（御欠席）
岸本　雅行	NPO法人　ふくい路面電車とまちづくりの会	理事	
小林　博之	公益社団法人　福井県バス協会	専務理事	
池田　誠	福井県交通運輸産業労働組合協議会	幹事	（代理御出席：橋本　真樹　様）
能勢　淳一郎	越前市議会	議員	
澤崎　幸夫	福井鉄道株式会社鉄道事業本部	常務取締役	
惣宇利　健善	福井鉄道株式会社自動車事業本部	常務取締役	（代理御出席：宮川　順次　様）
相馬　康伸	ヤマトタクシー株式会社	代表取締役	
山室　悦久	越前警察署交通課	課長	
谷口　雅弘	福井県丹南土木事務所管理用地課	課長	
大舘　久志	中部運輸局福井運輸支局	首席運輸企画専門官	
中出　博行	福井県未来創造部新幹線・交通まちづくり局交通まちづくり課	課長	（代理御出席：清水　佑哉　様）
奥山　茂夫	越前市総合政策部	部長	

〔幹事〕

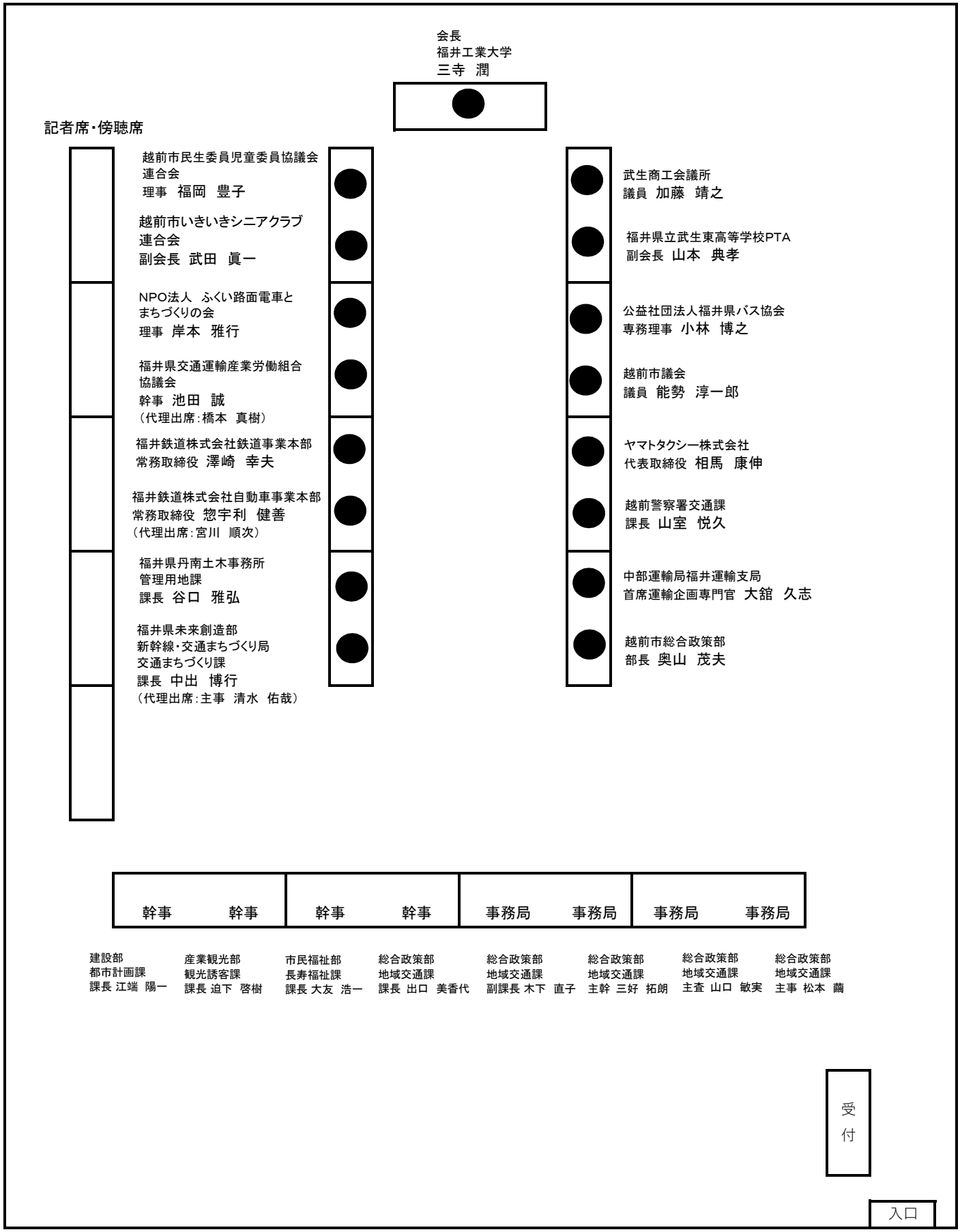
氏名	所属	役職
出口　美香代	総合政策部地域交通課	課長
大友　浩一	市民福祉部長寿福祉課	課長
迫下　啓樹	産業観光部観光誘客課	課長
江端　陽一	建設部都市計画課	課長

〔事務局〕

氏名	所属	役職
木下　直子	総合政策部地域交通課	副課長
三好　拓朗	総合政策部地域交通課	主幹
山口　敏実	総合政策部地域交通課	主査
松本　繭	総合政策部地域交通課	主事

令和６年度第１回越前市地域公共交通会議

配席図



【報告事項】

市民バス・デマンド交通実証実験の利用状況について

1　市民バス利用者数の推移（令和５年４月～令和６年３月）について

（１）エリア別利用者数の推移

令和５年度の市民バスの利用者数を令和４年度同期実績と比較すると、武生エリアにおいては３．９％の増加、今立エリアにおいては１０．６％の減少となり、全体では２．５％の増加の５０，４６８人の利用となっており、利用者は路線全体で増加に転じている。

ただし、令和元年度同期実績と比較すると１５，８４５人の減少となり、コロナ禍前の水準までの回復には程遠い結果となっている。

＜市民バス利用者数の状況＞　＊別冊Ｐ１参照　（単位：人）

		令和元年度	令和４年度（A）	令和５年度（B）	増減（B）－（A）	
市民バス	武生	59,999	44,436	46,199	1,763	＋3.9%
	今立	6,314	4,773	4,269	▲504	－10.6%
計		66,313	49,209	50,468	1,259	2.5%

（２）ルート別利用者数の推移

令和５年度のルート別利用者数を令和４年度同期実績と比較すると、武生エリアでは市街地循環北、市街地循環南、王子保・南、国高・北日野ルート、白山・大虫ルートで利用者が増加していた。今立エリアでは、３ルートすべてで利用者が減少しており、特に月尾ルートでの減少が顕著であった。

＜市民バス利用者数のルートごとの比較＞　＊別冊Ｐ１～２参照

ルート	増減	主な要因
① 市街地循環北	＋6.1%	武生駅、ショッピングセンターシピィまでの買い物目的の利用者が増加している。特に、免許返納者の利用が増加している（免許返納者乗車増加人数： 318人、＋7.5%）
② 市街地循環南	＋7.2%	武生駅、ショッピングセンターシピィ、ワイプラザ武生南店までの買い物目的の利用者が増加している。特に、免許返納者の利用が増加している。（免許返納者乗車増加人数：886 人、＋23.4%）
③吉野・大虫	▲19.7%	吉野地区（▲27.4%）、大虫地区（▲10.6%）ともに利用者は減少している。吉野地区では、1 か月当たり永坂町東で約 20 人の減少、武生駅で約 10 人が減少している。 大虫地区では、たけふ新駅での乗降者が減少している。

④坂口・神山	▲15.1%	自家用有償旅客運送実証実験開始に伴い利用者が減少している。
⑤王子保・南	＋6.7%	武生駅前までの買い物や通院目的の利用者数が増加している。また、今宿町や今宿南での乗降者が増加している。
⑥国高・北日野	＋3.6%	国高地区では利用者は増加（+20.9%）しており、武生駅前までの買い物や通院目的の免許返納者の利用が増加している。また、横市町・武生楽市前や国高公園も増加傾向である。 北日野地区では利用者が減少（▲15.6%）しており、たけふ新駅や武生駅前までの乗降者が減少している。買い物や通院目的の利用者が減少している。
⑦味真野・北新庄	▲9.7%	武生駅前までの買い物や通院目的の利用者数が減少している。特に免許返納者の利用が減少している。（免許返納者乗車減少数：185 人、▲35.9%）
⑧白山・大虫	＋12.9%	武生駅前までの買い物や通院目的の利用者数が増加している。特に免許返納者の利用が増加している。（免許返納者乗車増加数：179 人、＋36%）
⑨月尾	▲27.4%	岡本小学校前や杉尾口、あいぱーく今立での乗降が減少している。 また、東・今立中央病院前での乗降も減少しており、通院目的の利用者が減少しているのがわかる。免許返納者、通常利用の利用者がともに減少している。（免許返納者乗車減少数：147 人、▲50.1%） 利用者の内、亡くなった方・施設に入居した方多く、利用者数減少の一因と考えられる。
⑩水間	▲6.4%	通院目的の利用者が減少している。 利用者の内、亡くなった方・施設に入居した方多く、利用者数減少の一因と考えられる。
⑪服部	▲7.6%	買い物や通院目的の利用者が減少している。 利用者の内、定期的に乗車していた方が亡くなったことが利用者数減少の一因と考えられる。 また、少子高齢化による学生の利用者減少も一因と考えられる。

２　デマンド交通実証実験の利用状況について（令和６年３月末現在）

（１） 説明会開催状況

① 期間：令和５年９月３０日～令和６年３月３１日

② 回数：６５回

③ 参加者数：７６９人

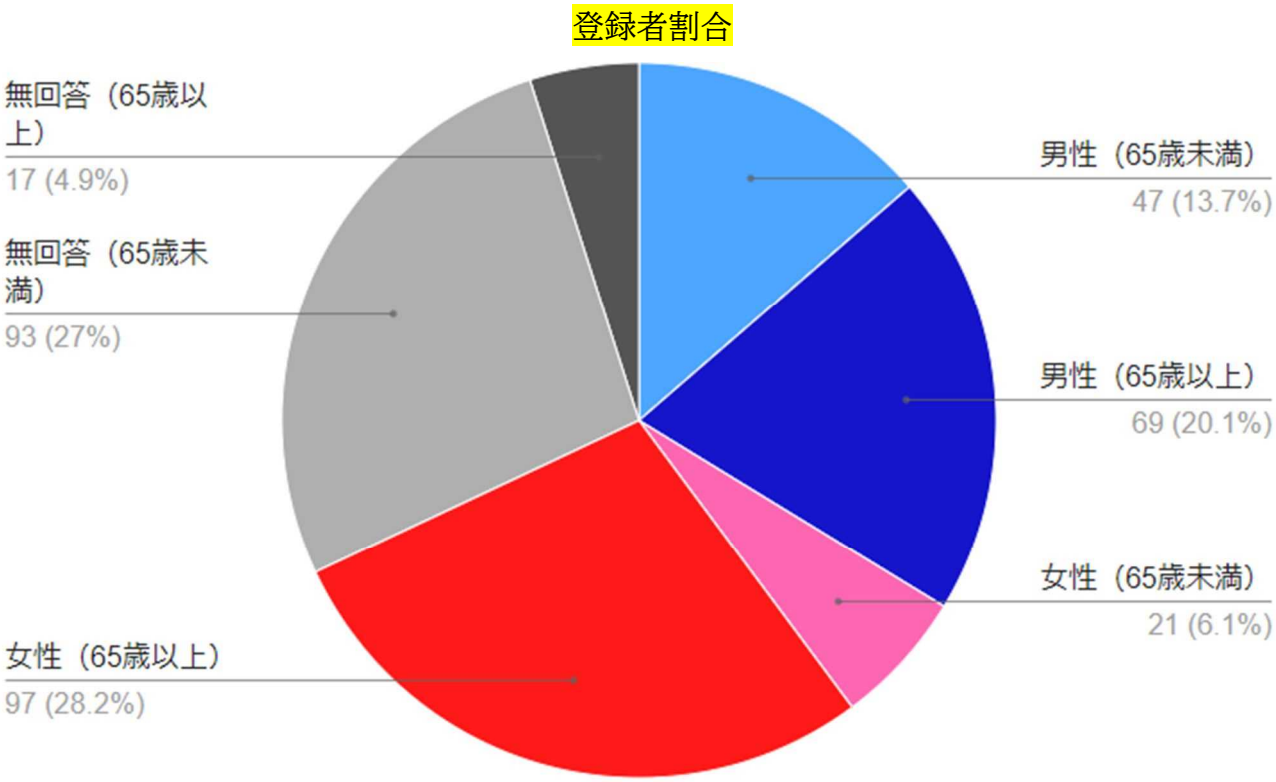
（２） 会員登録状況

① 登録者数：３４４人（令和 5 年 12 月 15 日以降、１２８人増加）

※令和５年１２月１５日時点…２１６人

② 登録者割合：

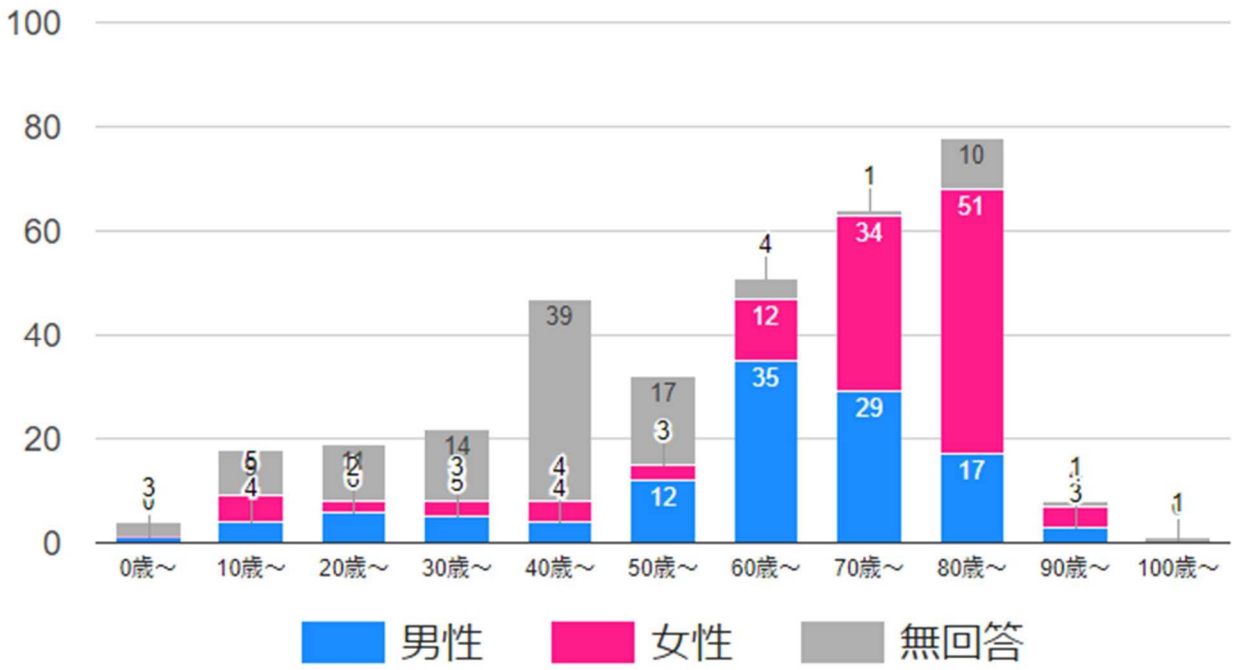
６５歳以上の女性が最多（28.2%）。次いで６５歳未満の性別無回答（27.0%）、６５歳以上の男性（20.1%）の順である。



③ 登録者割合（年代別　性別）：

８０歳代の女性が最多（14.8%）。次いで、６０歳代の男性（10.2%）の順である。４０歳代の性別無回答（11.3%）については観光客利用と思われる。

登録者割合（年代別 性別）

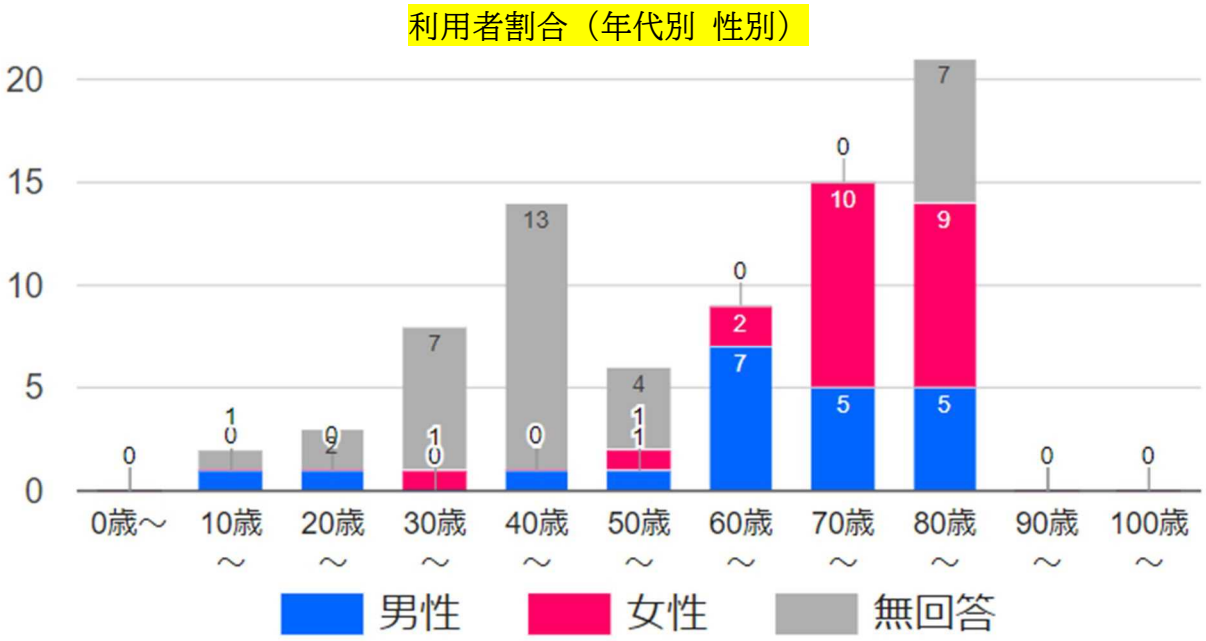


（３）利用状況

項目	令和５年 １２月１５日 現在（A）	令和６年 ３月３１日 現在（B）	増減 B－A
会員登録者(人)	２１６	３４４	１２８
利用経験者(人)	３６	７８	４２
利用回数(回)	１６８	４７３	３０５
平均利用回数 (利用回数/利用経験者)	４．６	６．１	１．５
最大利用回数(回)	３１	６３	３２
運行日数（日）	２２	６４	４２
１日あたり利用人数（人）	７．６	７．４	－０．２

① 利用者割合：

６５歳以上の女性が最多（33.3%）。次いで６５歳以上の無回答（19.4%）、６５歳以上の男性（16.7%）の順であり、６５歳以上で全体の約７割を占めている。



② 地区別内訳：

地区	登録者（人）	利用者（人）	利用割合（%）	利用回数（回）
味真野	５５	１３	２４	１６１
粟田部	２２	３	１４	３７
岡本	３７	６	１６	２３
東	３１	１２	３９	２１
北日野	４１	４	１０	７
北新庄	１０	４	４０	６
国高	７	２	２９	４
西	７	１	１４	１
その他	１３４	３３	３０	２１３
合計	３４４	７８	－	４７３

※網掛けの地区…実証実験エリア

③ 曜日別　平均予約件数：

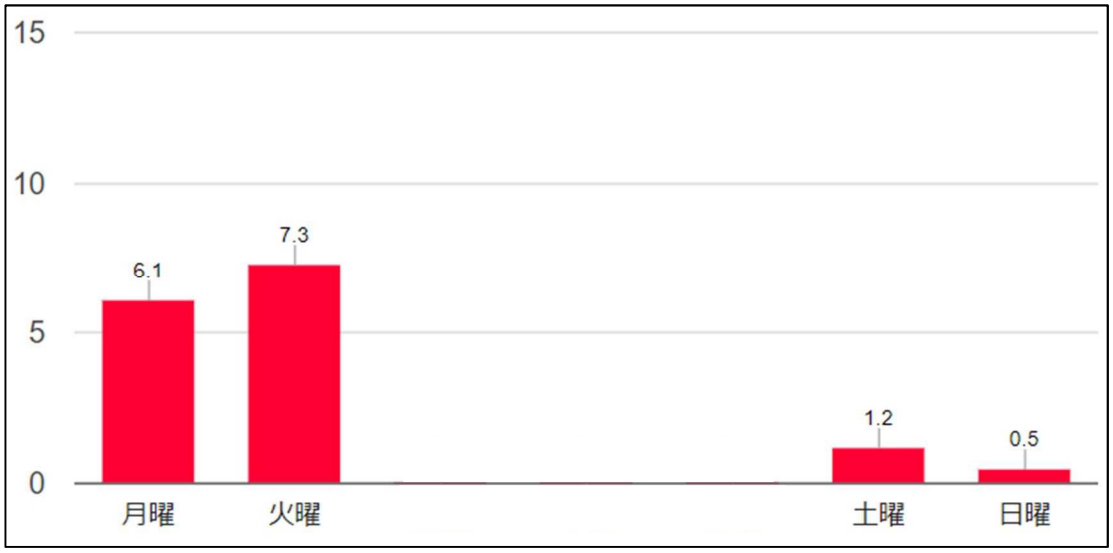
越前たけふ駅が開業した３月１６日からは、運行曜日を拡充（※）したことにより、開業前後で土曜日の平均予約件数１．２件が３．４件に約３倍増加した。

月曜日は、開業前後で変化がなかったが、火曜日は減少した。

曜日別 平均予約件数

【令和５年１０月～令和６年２月】

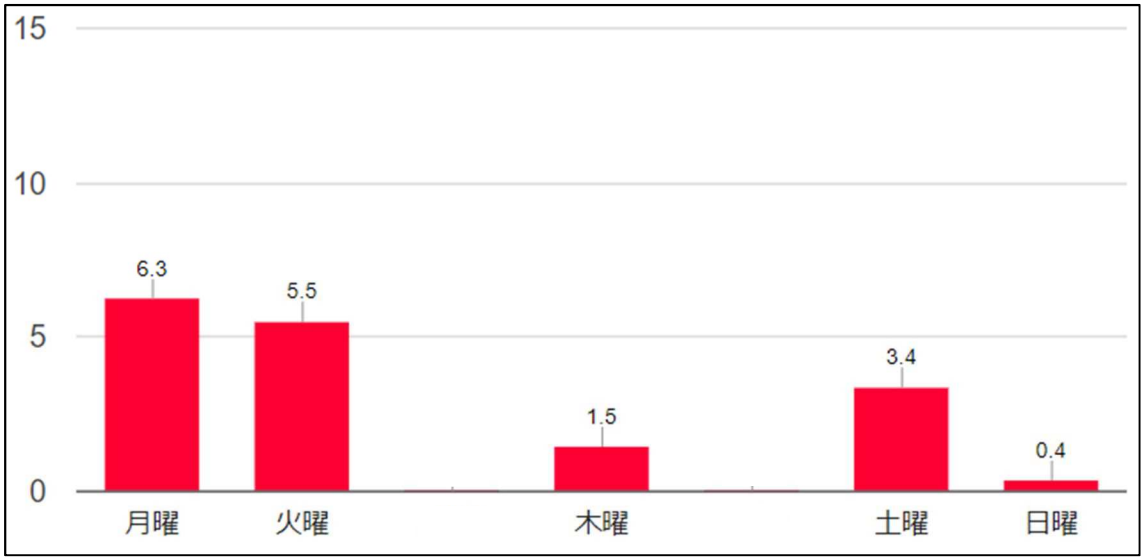
運行曜日：月曜日、火曜日、第４土曜日、第４日曜日



（第４土曜日）　（第４日曜日）

【令和６年３月】

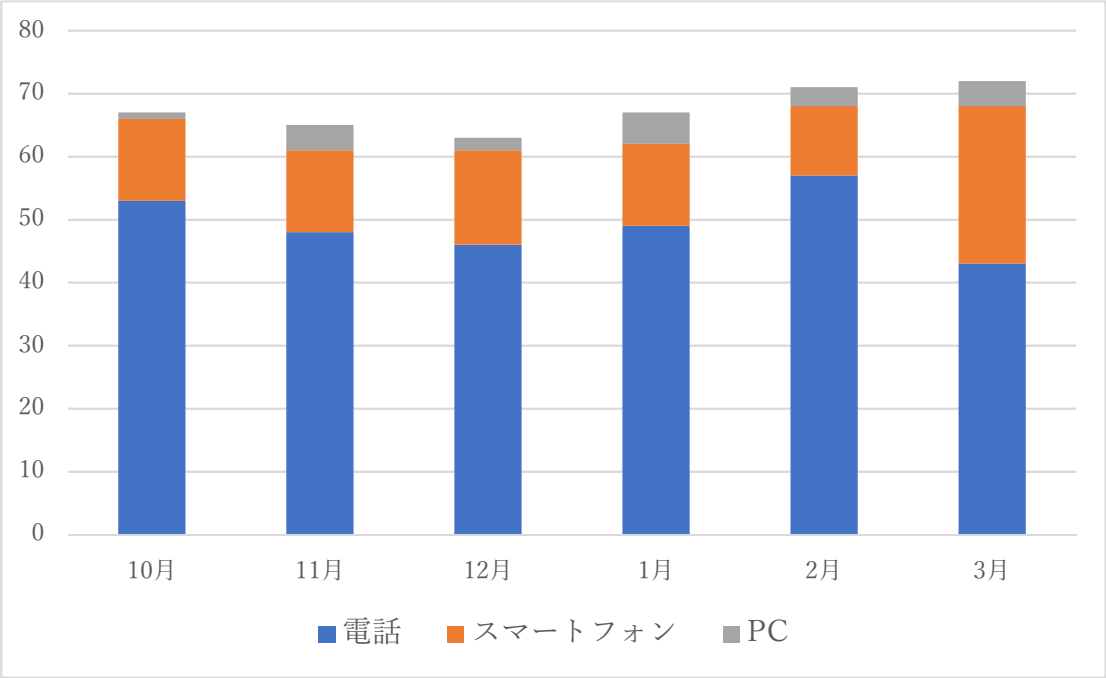
（※）３月１６日からは毎週月曜日、火曜日、木曜日、土曜日の週４日に運行曜日を拡充



（４） 予約状況

予約方法別予約件数：電話での予約が７割以上と、電話での予約が中心である。

予約方法別　予約件数



（５） 事業者、利用者・住民からのご意見等

① 事業者からのご意見

・利用者は高齢者（75 歳以上）、特にＢエリア（味真野・今立エリア）が多い
・買い物利用が多い
・乗合いが少ない
・２～３人の少人数グループでの利用が多い
・乗車３０分前から予約可能であることをもっとＰＲしては
・最初の登録手続きがネック。家族が勧めて、代わりにしてあげると登録者数が伸びるのでは。

② 利用者、住民からのご意見

・今立総合支所方面は非常に行きやすくなった。
・今立地区と同じエリアのため、乗継が必要となるため、武生地区と一緒にしてほしい。
・運行時間帯について、特に夕方を遅くしてほしい。
・説明会を繰り返し行わないと、定着は難しいのでは。

３　坂口地区における自家用有償旅客運送事業実証実験の利用状況

坂口地区では令和５年８月２日から無償での自家用有償旅客運送事業実証実験を開始しているが、令和６年３月末日までの運行実績は以下の表のとおりとなった。

令和５年８月から令和６年３月までの８か月間において、１日あたりの平均利用人数は４．８人となり、実証実験開始前の令和５年７月までに坂口地区で運行していた「さかのくち買い物号」の１日あたりの平均利用人数２．５人と比較すると、１．９２倍と２倍近く増加している。

１日あたりの平均利用人数増加の要因としては、さかのくち買い物号では行先を買い物に限っていたが、自家用有償旅客運送実証実験では病院や図書館、中央公園など買い物以外の場所にも利用できるようになったことが大きいと考えられる。

市民バス「坂口・神山ルート」の利用数減少は、自家用有償旅客運送への移行が考えられる。

＜さかのくち買い物号の利用者数＞

項目	令和５年７月
運行日数	７日
利用人数	１８人
１日あたり平均利用人数	２．５人

＜自家用有償旅客運送実証実験の利用者数の推移＞

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行日数 （内学校利用）	12 (8)	13 (5)	12 (3)	12 (6)	8 (2)	8 (4)	10 (2)	15 (7)	90 (39)
利用人数 （内学校利用）	54 (33)	64 (31)	52 (16)	75 (38)	37 (14)	36 (24)	33 (9)	85 (31)	436 (196)
１日あたりの 平均利用人数 （内学校利用）	4.5 (4.1)	4.9 (6.2)	4.3 (4.3)	6.3 (6.3)	4.6 (7)	4.5 (6)	3.3 (4.5)	5.7 (4.4)	4.8 (5.0)

＜坂口・神山地区の市民バス利用者数の推移＞

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和４年度①	163	155	214	190	161	156	130	171	1,340
令和５年度②	131	155	137	154	170	109	130	144	1,130
差（②－①）	-32	0	-77	-36	9	-47	0	-27	-210

協議事項（１）

坂口地区における自家用有償旅客運送事業の概要書

１　事業名称

自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）

２　目的

坂口地区における公共交通機関については、現在、市民バスが週２日運行しているが、町なかまで約１時間かかるというのが現状である。また、タクシーの予約もなかなか取れない状況であるため、町なかへの移動手段が少なく、車を持たない高齢者などにとっては、日常の買い物や通院といった外出が不便であることが、地域全体の課題であった。

こうした課題に対応するため、令和５年８月から、市の委託事業として、住民がドライバーとなり、買い物や通院などの外出を地域内で支え合おうと、無償での実証運行を行っている。

実証運行は、地区内の団体である「サポートさかぐち」が中心となり、住民の意向に沿った運行形態や運賃などを協議しながら行っており、令和６年７月からは、有償で運行できるよう準備を進めている。

移動に制約のある高齢者や学生が、住民同士の支え合いによる外出機会を持つことによって、生活水準の向上が期待できるだけでなく、住民同士の交流が地域全体の活性化につながることを目的として自家用有償旅客運送による運行を実施する。

３　運行主体及び委託先

（１）運行主体　　越前市
（２）運行委託先　サポートさかぐち

４　運送の区域

越前市内全域
（別添：「坂口地区における自家用有償旅客運送事業運送区域図」参照）

５　対象者

越前市坂口地区（湯谷町、中山町、下別所町、勾当原町、中津原町、下中津原町）に居住する住民で、事前登録した者
※中学生以下は保護者、または引率教員の同伴が必要

６　これまでの経緯

（１）令和４年１０月～令和５年７月　　自家用有償旅客運送実証実験　準備期間
（２）令和５年８月～令和６年６月　　無償による自家用有償旅客運送実証実験
（３）令和６年７月１日～　　自家用有償旅客運送による運行開始予定

７　実証実験の概要

（１） 無償による実証運行

① 週２回運行（毎週木曜日及び金曜日に市が用意した車両を使用）

② 運転手確保（国土交通大臣認定講習会の実施）、サポーターの確保

③ 日報及び月報の作成

（２） デマンド運行の有償運行に向けた課題の洗い出し及び対応策の検討

① 運行形態（運行エリア、発着地、運行時間、利用方法、予約方法、利用料など）

② 運行経費の精査（車両の燃料費、運転手及びサポーターへの謝礼等）

③ 利用者アンケートの実施及び検証

８　運行の基本

（１）運行形態　自宅への送迎（ドア・ツー・ドア）

（２）利用方法　事前利用登録制、予約制

（３）運行日　　毎週木、金曜日、第２、４水曜日を基本とする。
それ以外の曜日については、運行委託先において運転手などの調整を行い、運行可否を決定する。

（４）運行時間　８時３０分～１２時、１３時３０分～１６時

（５）主な目的

①　買い物、通院など
・毎週木曜日…買い物
・毎週金曜日…公共施設や病院
・第２・４水曜日…買い物、通院など特に定めない。

② 坂口地区の学生の教育活動、課外活動への参加、保護者のＰＴＡ活動

③ 地域活動

（６）運賃

① 大人　　５００円／往復（坂口地区発着）
２５０円／片道（坂口地区発又は坂口地区着）

② 中学生以下　２００円／往復（坂口地区発着）
１００円／片道（坂口地区発又は坂口地区着）
※引率する教員または保護者を含む

③ 回数券/２，５００円（片道１１回分）※大人のみ

【参考】

・市民バス料金：乗車１回につき１００円（小学生以下無料）

・タクシー料金（坂口地区から町なかまで約１２㎞）：約4,000～5,000円

（７）運行エリア　　越前市内全域

・発着地又は発地若しくは着地のいずれかが坂口地区（湯谷町、中山町、下別所町、勾当原町、中津原町、下中津原町）内であること。

・発着地は、坂口公民館、各利用者の自宅（ただし、個人宅訪問を目的とした発着は不可）小売店、公共施設、病院及び公共交通の駅や停留所に限る。

（8）事業費（令和６年度）　　２，９６７千円

【内訳】　市委託料（サポートさかぐちへの運行委託等）　１，７９２千円

　　車両リース料　　１，１７５千円

９　運行体制（令和６年４月１日時点）

（１）運転手　　１８人

（２）サポーター　１４人

（３）運行管理・整備管理責任者　　１名

（４）整備管理責任者　　１名

１０　車両について

（１）車種　日産セレナ（８人乗りワゴン車）

（２）台数　１台

（３）保険　車両リース料に含む

１１　坂口地区住民アンケート結果について

（１）調査時期　　令和６年２月６日（火）～令和６年２月２３日（金）

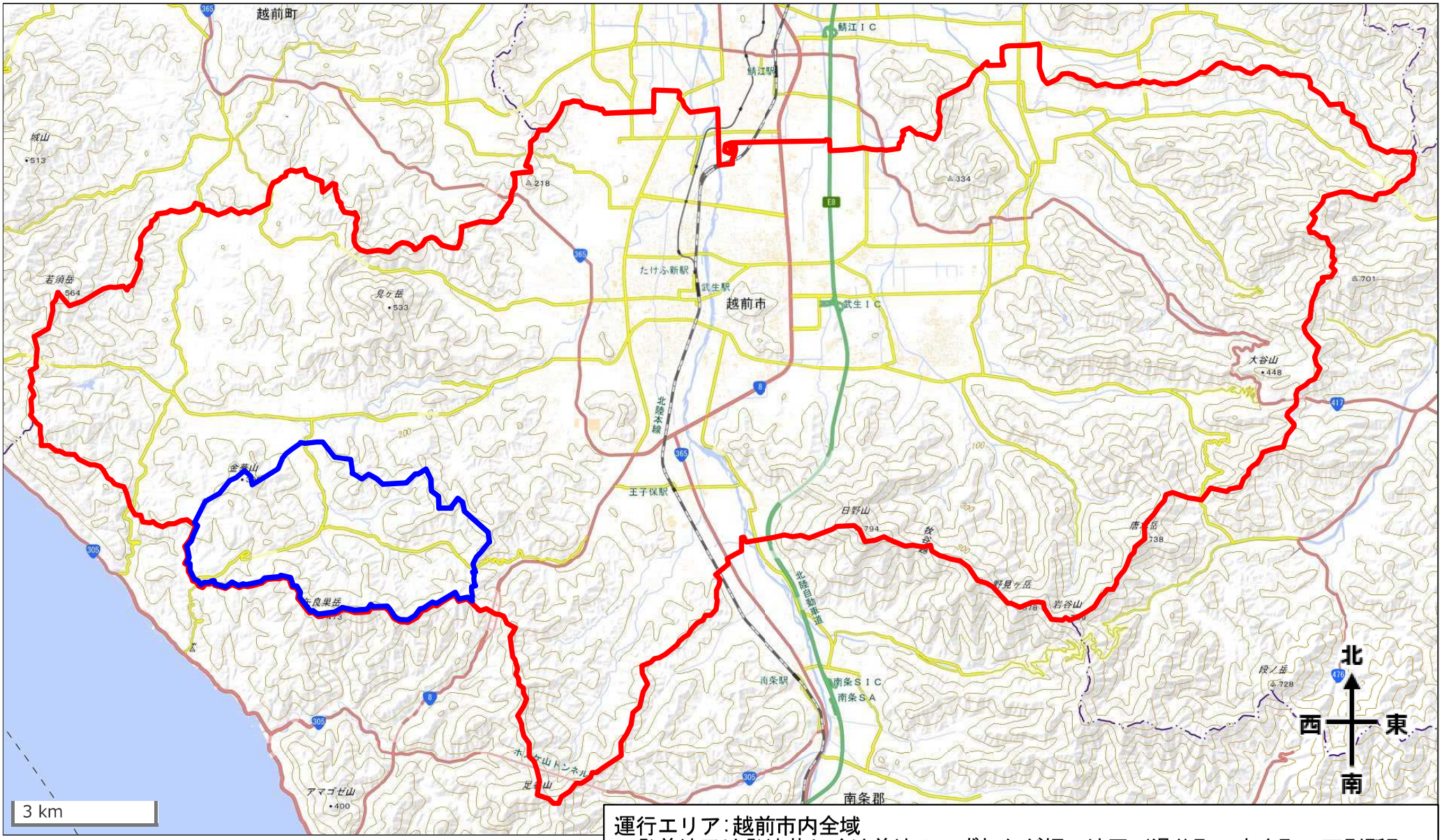
（２）配布数　　３６４枚

（３）回答数　　２５９枚

（４）回収率　　７１％

（５）集計結果　　別添のとおり

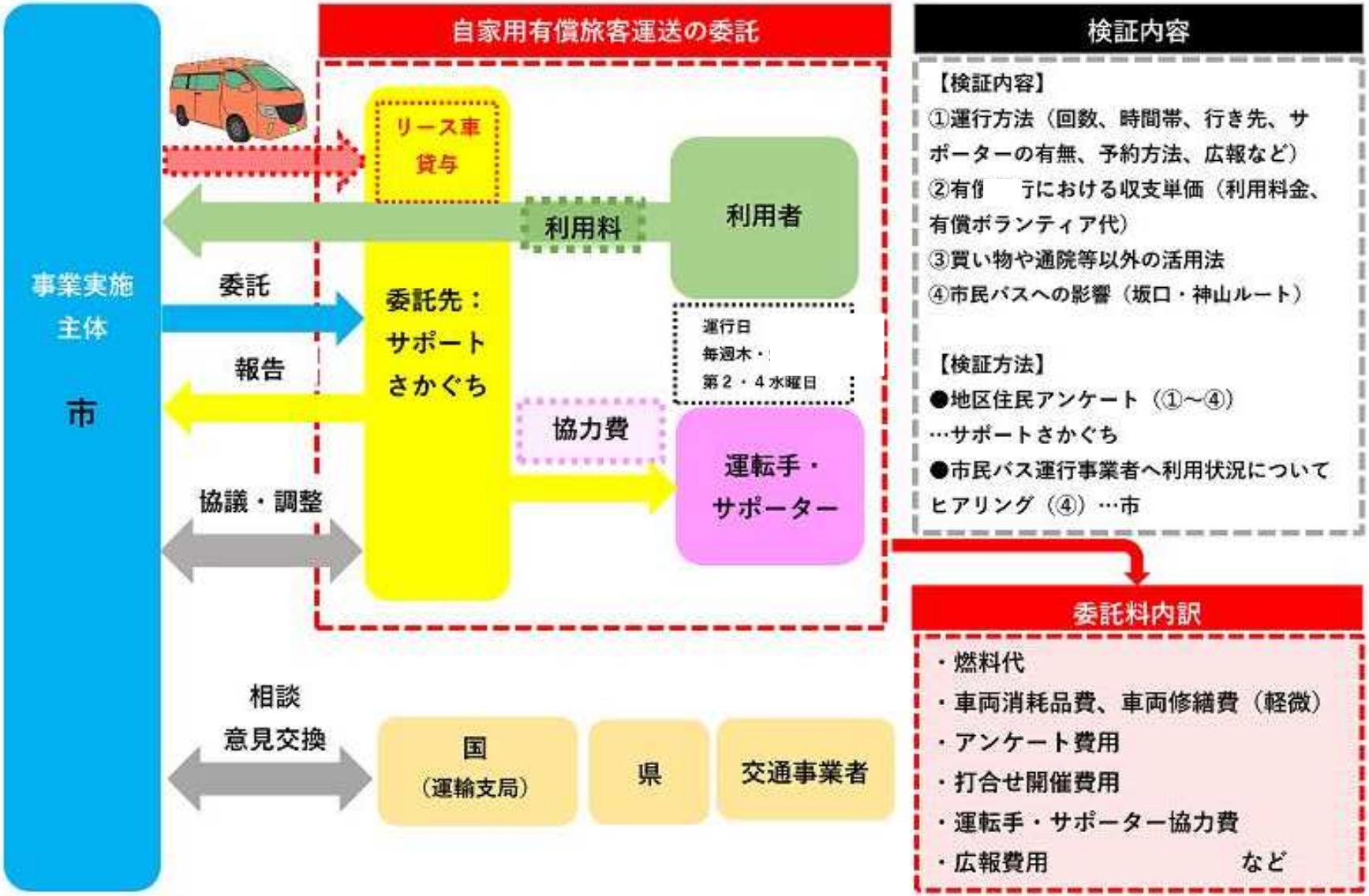
坂口地区における自家用有償旅客運送事業運送区域図



運行エリア：越前市内全域
・発着地又は発地若しくは着地のいずれかが坂口地区（湯谷町、中山町、下別所町、勾当原町、中津原町、下中津原町）内であること。
・発着地は、坂口公民館、各利用者の自宅（ただし、個人宅訪問を目的とした発着は不可）小売店、公共施設、病院及び公共交通の駅や停留所に限る。

—— 越前市
—— 坂口地区（湯谷町、中山町、下別所町、勾当原町、中津原町、下中津原町）

坂口地区における自家用有償旅客運送事業の仕組み



坂口地区自家用有償旅客運送事業（うらら　のりねぇ～のＧＯ！！）
住民アンケート結果

１　利用状況について

問１　自家用有償旅客運送を利用したことはありますか。

ある	ない	無回答
１７．０％（44 人）	８１．９％（212 人）	１．１％（3 人）

問２　自家用有償旅客運送を、また利用したいと思いますか。
（利用したことがあると答えた人に対して）

利用したい	利用したいと思わない	無回答
９５．４％（42 人）	２．３％（1 人）	２．３％（1 人）

「自家用有償旅客運送を利用したことがある」と答えた４４人のうち、９５％以上の４２人が「また利用したい」と答えており、今後の運行継続を希望していることから、定着が進んでいることが伺える。

【利用者、運転者からの意見】
・玄関先までの送迎や、重い荷物を運んでもらえて助かる。
・ドライバーをしたところ、希望するところに最短で行けるので、大変便利な様子。
・普段、会わない人と話ができるのが楽しい。
・地域の人との交流があってよかった。

問３　有償後も自家用有償旅客運送を利用したいと思いますか。
（利用したことがあると答えた人に対して）

毎回利用したい	たまに利用したい	特に利用したいと思わない	無回答
１８．２％（8 人）	６５．９％（29 人）	６．８％（3 人）	９．１％（4 人）

「利用したことがある」と回答した４４人のうち、のうち、８４％以上の３７人が、有償後も「毎回利用したい」、「たまに利用したい」と回答している。
現行の無償から有償運行に変わった後も、現状の利用者数を維持しながら、運行を継続できると推測できる。

２　市民バスの利用状況について

※坂口・神山ルート…毎週火・土曜日の２日（１日あたり往復２便）運行

問１　市民バスを利用していますか。

現在 利用している	以前から 利用していない	以前は利用していたが、 今は利用していない	無回答
１３人 (5.0%)	３６人 (13.9%)	１９８人 (76.4%)	１２人 (4.7%)

問２　市民バスを利用する頻度はどのくらいですか。

（現在、市民バスを利用していると答えた人に対して）

週２回	週１回	月１～２回 程度	半年に １回程度	１年に １回程度	その他（2 カ 月に１回）	無回答
０人 (0.0%)	１人 (7.7%)	２人 (15.4%)	２人 (15.4%)	０人 (0.0%)	１人 (7.7%)	７人 (53.8%)

市民バスを現在利用しているのは１３人（5.0%）のみで、利用していない人は、全体の９割以上の２３４人であった。利用している人のうち、最も多い利用頻度は、週１回の１人のみで、次いで月１～２回程度が２人、２カ月に１回程度、半年に１回程度がそれぞれ１人となっている。

市民バス利用者も全体的に少数であり、定期的に利用している人は、さらに少ない。

３　「市民バス」から「自家用有償旅客運送」への移行について

問１　「市民バス」と「自家用有償旅客運送事業」のどちらが便利で使いやすいか。

①　自家用有償旅客運送を利用したことがある人

市民バス	自家用有償旅客運送	無回答
４．５％（2 人）	７９．６％（35 人）	１５．９％（7 人）

②　自家用有償旅客運送を利用したことがない人

市民バス	自家用有償旅客運送	無回答
１６．５％（35 人）	５５．７％（118 人）	２７．８％（59 人）

【自家用旅客運送を選択した理由】

・家まで迎えに来てくれるから

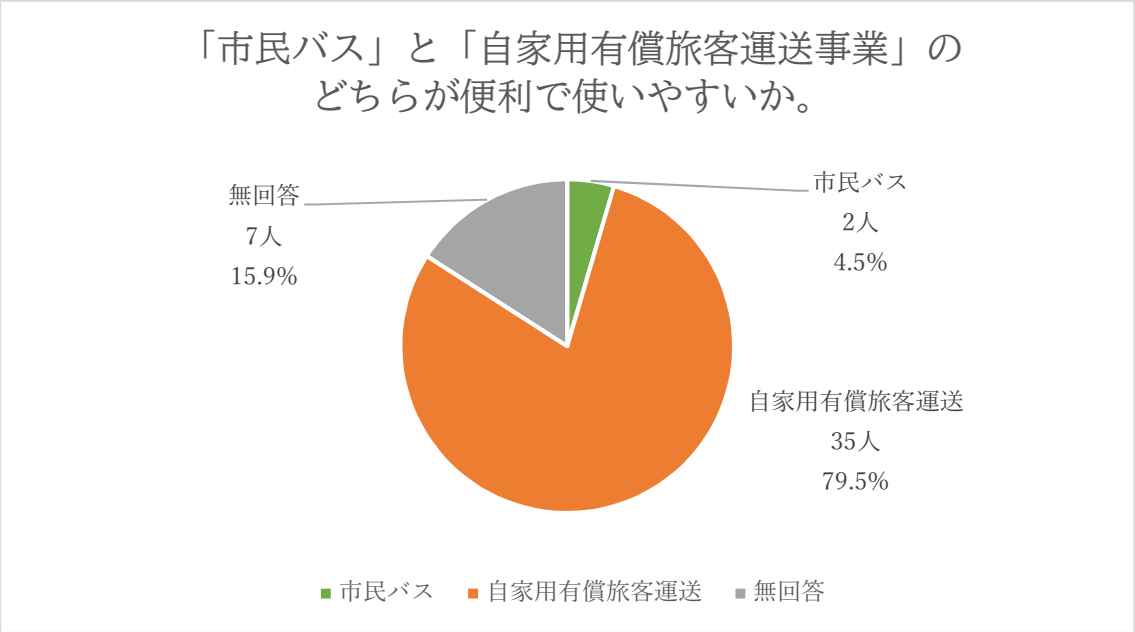
・直接目的地まで行けるから。

・家から目的地までの時間が早い。

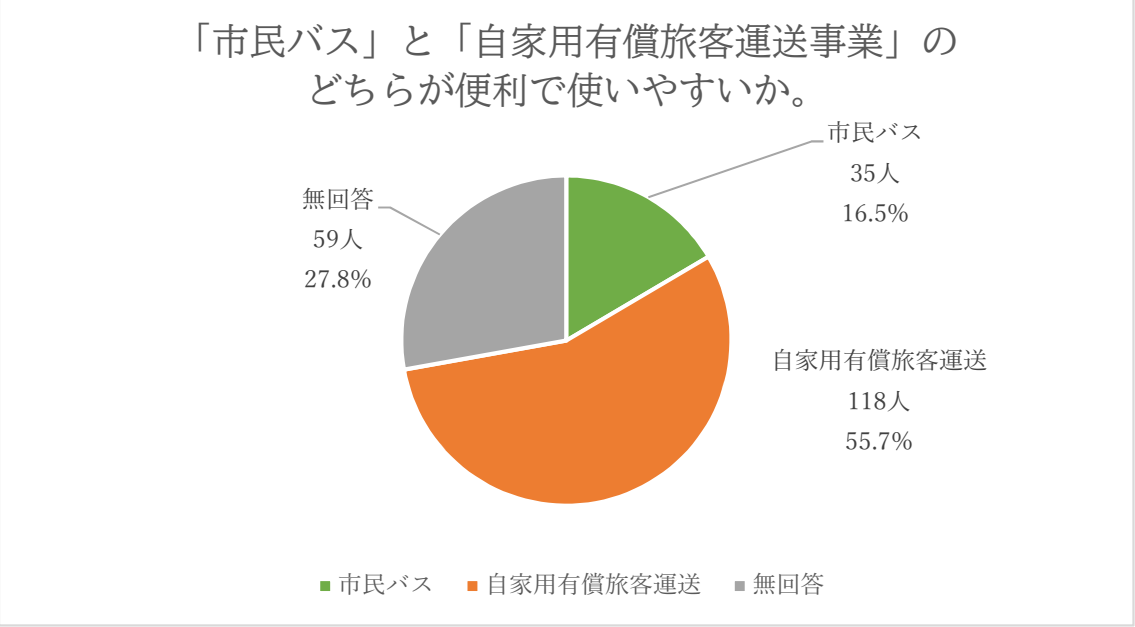
自家用有償旅客運送の利用経験の有無に関わらず、自家用有償旅客運送の方が、便利で使いやすいと回答した。

自家用有償旅客運送を利用したことがある人の回答では、７９．６％の３５人が自家用有償旅客運送の方が便利で使いやすいと回答しており、自家用有償旅客運送を実際に利用した人の方が、利用したことがない人と比較して「自家用有償旅客運送の方が便利で使いやすい」と回答している割合が２割以上高いことから、今後の自家用有償旅客運送の継続的な利用や、市民バスから自家用有償旅客運送への移行が期待できる。

① 自家用有償旅客運送を利用したことがある人



② 自家用有償旅客運送を利用したことがない人



協議事項（２）　越前たけふ駅シャトルバスにおける運賃及びダイヤの変更について

以下の２点について変更を行う。

１　運賃

（１）変　更　前　　１回 500 円 ※未就学児は無料

（２）変　更　後　　１回 500 円

※75 歳以上、小中学生・高校生、障がい者（介護者含む）、運転免許自主返納者は 250 円

※未就学児は無料

（３）変 更 理 由　　デマンド交通実証実験と同等の割引サービスを適用し整合性を図るため。

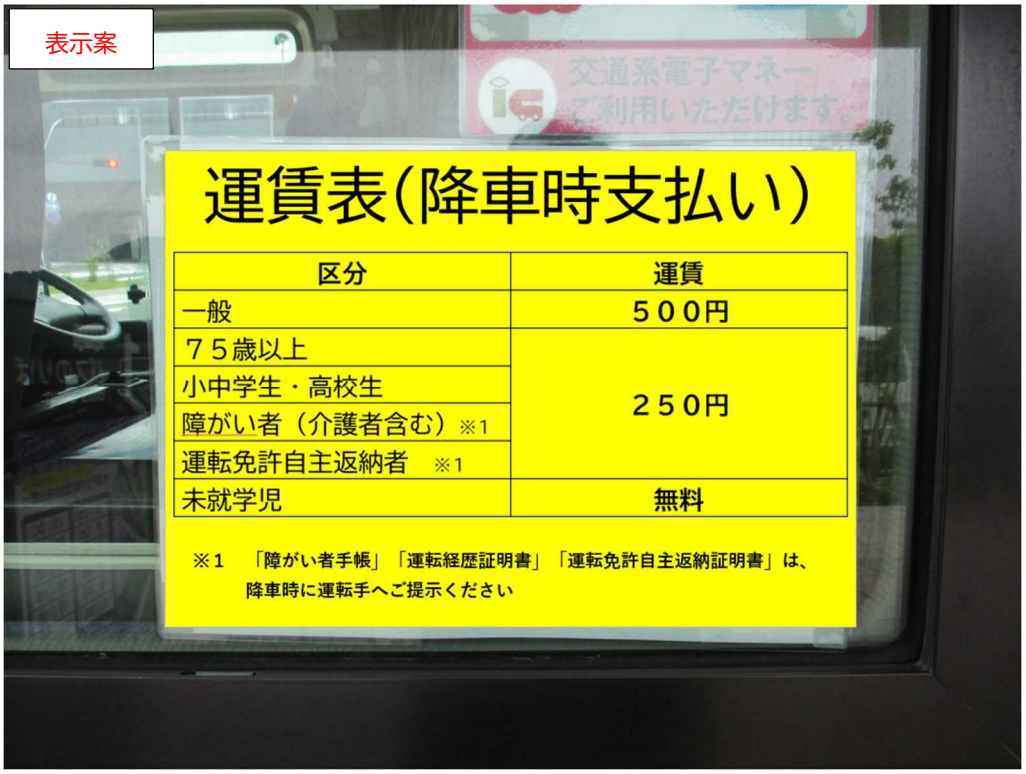
（４）変更予定日　　令和６年８月１日から

（５）表示場所及び内容　　下記のとおり

現在の表示場所①

現在の表示場所②

表示案



２　ダイヤ

（１） 変更内容

「バロー国高店前（東部商店街）」の停車便の増便（下図赤枠部参照）

バス停名	発着	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便	第9便	第10便	第11便	第12便	第13便
❶ 越前たけふ駅	発		6:10	7:05	8:00	9:00	9:40	11:05	12:00	13:05	14:05	16:15	17:15	18:15
❷ ホテルルートイン 武生インター	発		6:12	7:07	8:02	9:02						16:17	17:17	18:17
❸ プリンスホテルタケフ	発		6:15	7:10	8:05	9:05	↓	↓	↓	↓	↓	16:20	17:20	18:20
❺ バロー国高店前(東部商店街)	発		↓	↓	↓	↓						↓	17:23	18:23
❻ 武生駅	発		6:23	7:18	8:13	9:13	9:53	11:18	12:13	13:18	14:18	16:28	17:28	18:28
❼ 「大河ドラマ館」(武生中央公園) しきぶきぶんミュージアム	着		↓	↓	↓	↓	10:01	11:26	12:21	13:26	14:26	16:36	17:36	↓
❼ 「大河ドラマ館」(武生中央公園) しきぶきぶんミュージアム	発						10:11	11:33	12:33	13:28	15:13	16:40	17:40	
❻ 武生駅	発	5:50	6:23	7:18	8:13	9:13	10:18	11:40	12:40	13:35	15:20	16:47	17:47	18:57
❺ バロー国高店前(東部商店街)	発	↓	↓	↓	↓	↓					↓	↓	17:53	19:03
❹ 武生楽市南	発	6:00	6:33	7:28	8:23	9:23	↓	↓	↓	↓	15:30	16:57	17:57	19:07
❷ ホテルルートイン 武生インター	発	6:01	6:34	7:29	8:24	9:24					15:31	16:58	17:58	19:08
❶ 越前たけふ駅	着	6:05	6:38	7:33	8:28	9:28	10:33	11:55	12:55	13:50	15:35	17:02	18:02	19:12

（２） 変更理由

６時２３分発　東京行き「かがやき」をはじめとする北陸新幹線を利用する越前たけふ駅への移動手段確保を行い、越前たけふ駅の利便性向上を図るため

（３） 変更予定日　　令和６年８月１日から

ライシェアの基礎について

ライドシェアの実証について

１　目　的

　タクシーが不足する地域・時期・時間帯におけるタクシー不足状態を解消するために新たに制度化された「自家用車活用事業」を活用し、越前たけふ駅からの２次交通の充実とタクシーのピーク需要時間帯への対応を図る。さらに、本事業を通して、タクシー運転手としての担い手の確保をめざし、業界の維持・存続につなげる。

２　内　容

（１）タクシー事業者が運送主体となって、地域の自家用車・ドライバーを活用し、タクシーが不足する分の運送サービスを有償で提供する（地域の道路運送法第７８条第３号）。なお、県の**「タクシードライバー確保対策実証事業（令和６年度当初予算）」**を活用し、実証事業を行う。

【補助事業の概要】
①実証期間：３か月～６か月程度
②予 算 額：１５，０００千円（県10/10）※県内で実証に参加する事業者に配分・交付／市予算はなし
③補助経費：実証事業に係る初期費用
（運転手人件費、運行管理費、ドライブレコーダー、配車アプリ追加料、車両導入に係る任意保険　等）
④参加自治体：福井市、敦賀市、鯖江市、あわら市、越前市、大野市、坂井市、永平寺町、越前町（９市町９事業者）

（２）新たに雇用されるドライバーは、市が創設する奨励金制度の対象者とし、継続した人員確保を行っていく。

３　市内参加事業者

㈲小松タクシー（従業員数：２３人、車両保有台数：１７台）

ライドシェアの実証について

４　事業実施にあたっての課題

課　題	対応方針　等
不足曜日・時間帯・車両数の指定	**①金・土曜日の１６時～翌５時／不足車両営業区域内のタクシー車両数の５％（３台）** **②①に限らず、営業区域内の自治体がタクシー車両が不足しているとして運輸支局特定の曜日及び時間帯、車両数** **⇒月～金曜日の７時～１１時、１６～２４時：３台** **土、日曜日の１６時～２４時：３台**
使用する車両	自家用車若しくはタクシー事業者保有車を使用
一般ドライバーの雇用形態	事業者との直接雇用（業務委託は不可）
損害賠償	対人８，０００万円以上及び２００万円以上の任意保険若しくは共済への加入が必要
事前確定運賃制度の導入	今後、国が指定（武生交通圏は制度未導入）
人材確保	自治体、事業者、経済団体が連携して広く募集

５　スケジュール

５月７日　　タクシードライバー確保対策検討会議開催［実証内容や必要経費の検討］
５月１０日　　不足車両数の申出（市町⇒福井運輸支局）
５月２２日　　タクシーが不足する地域等の指定・公表
５月下旬　　許可申請（タクシー事業者⇒福井運輸支局）
６月以降　　許可が下り、準備が整い次第、実証運行開始

越前市地域公共交通計画の策定について

1　越前市地域公共交通計画策定について

(1)計画策定の背景と目的

・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、地方公共団体による地域公共交通計画策定が努力義務とされた。

・令和6年3月に北陸新幹線が開業し、本市の公共交通が担う役割はますます重要

・越前たけふ駅は、並行在来線から離れた新幹線駅のため、観光客やビジネス客が効率よく移動できる二次交通の整備が必要

・地域交通については、デマンド交通や自家用有償旅客運送など新たな交通の実証運行を進めており、買い物や通院などの便利な移動手段となるよう検討が必要

・本市の公共交通をトータルで最適化し、持続可能な地域交通ネットワークの形成を図るため、越前市公共交通活性化協議会での協議を経て地域公共交通計画を策定し、本市に適した公共交通施策や事業に取組む。

1　越前市地域公共交通計画策定について

越前市を取り巻く現状・新たな流れ

人口減少社会　　少子高齢化　　車への依存　　公共交通利用者の減少

新幹線開業　　観光客やビジネス客など交流人口の拡大　　運転手不足

デマンド交通など新しい交通の導入　　公的負担が年々増加

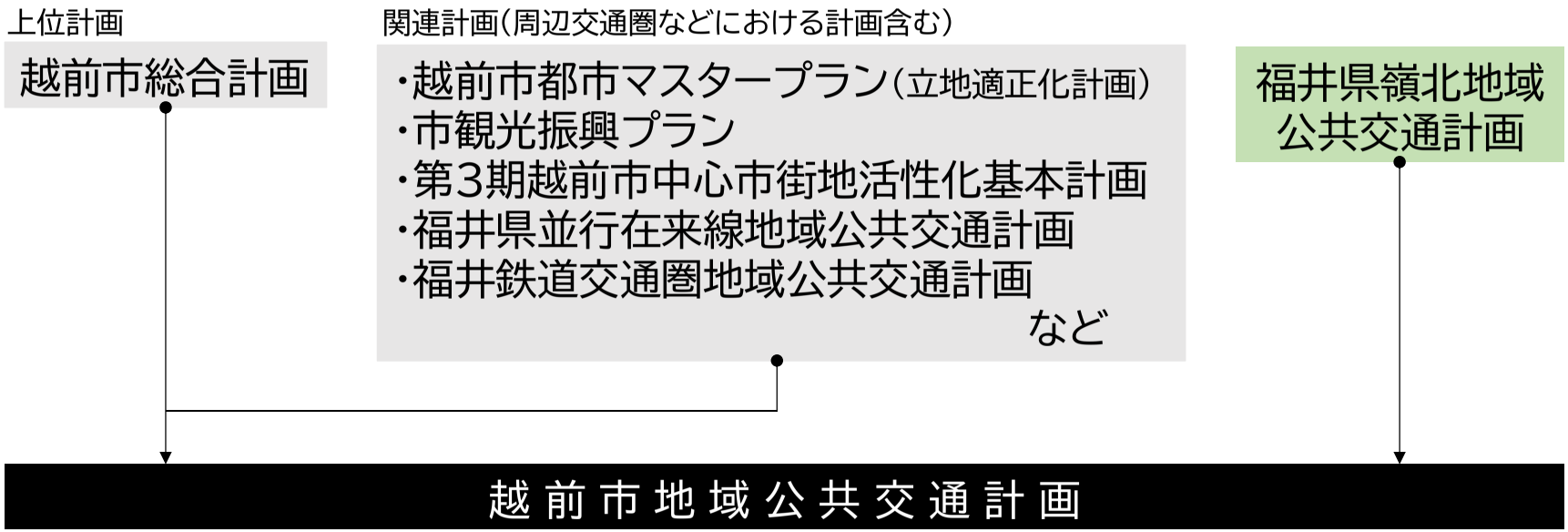
越前市地域公共交通計画
（令和７年３月策定予定）

策定のポイント：公共交通をトータルで最適化、持続可能な地域交通ネットワークの形成

① 越前たけふ駅を拠点に、観光客やビジネス客が効率よく移動できる交通システムを構築
② 地域交通の利便性向上と利用促進を目指す
③ 持続可能な公共交通を目指して、複数の交通モード全体を見直し再編

1　越前市地域公共交通計画策定について

(2)計画の位置付け

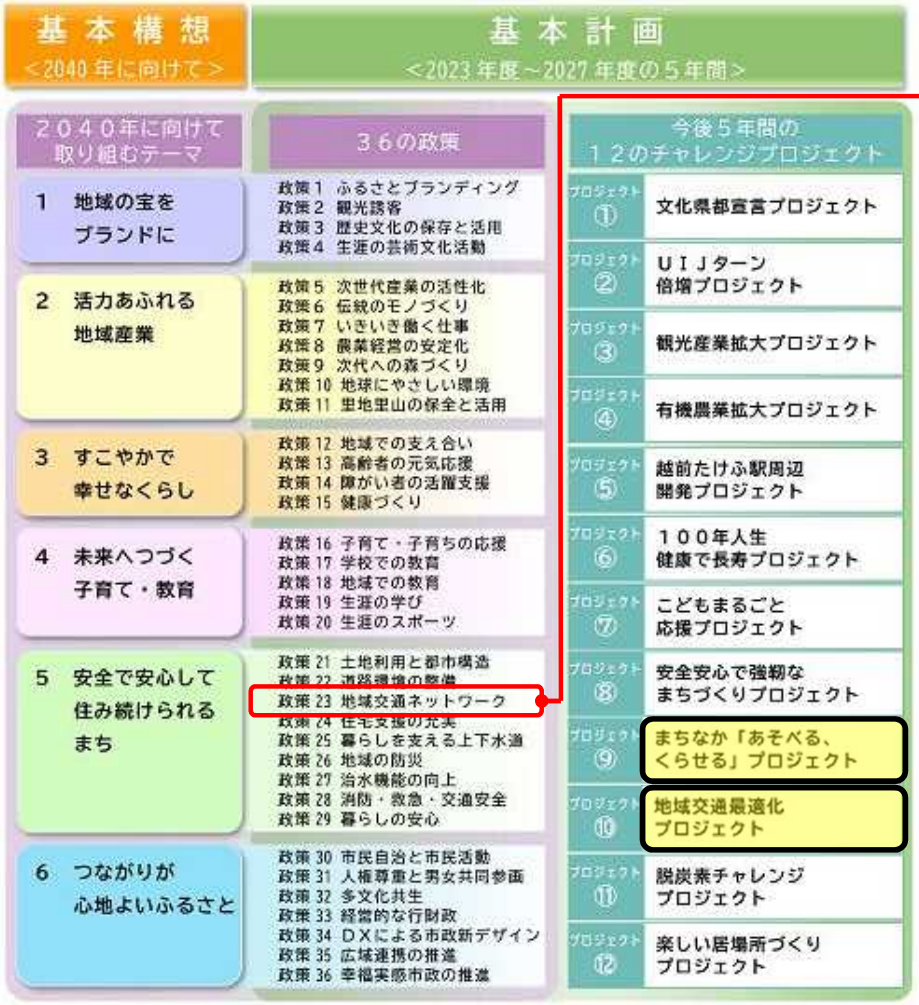


(3)計画期間と対象

(1)計画期間　　5年間（令和7年度～令和11年度）
(2)対象区域　　越前市全域
(3)計画の対象
　市民バス、路線バスなど従来の公共交通のほか、北陸新幹線、並行在来線、福井鉄道福武線、タクシー、デマンド交通、シャトルバス、自家用有償旅客運送、福祉関係の移動サービス、スクールバスなど地域の多様な輸送資源を総動員するものとする。

2　本市の地域交通における取組みの方針

越前市総合計画



政策23　地域交通ネットワーク

【取組みの方針】

（1）**手軽で乗りやすい交通の確保**
- デマンド交通などの多様な交通手段の組み合わせにより、高齢者や通勤・通学者の移動手段の確保
- ハピラインふくい「しきぶ駅」や周辺の利便性向上、利用促進

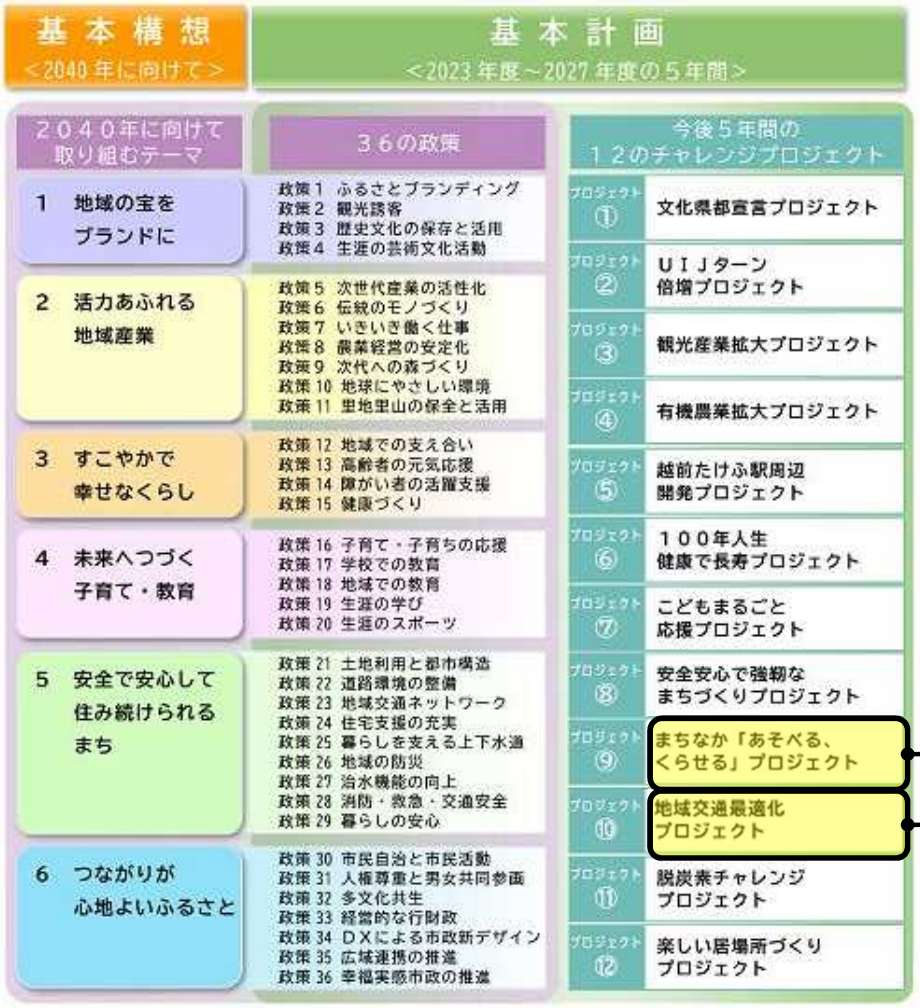
（2）**北陸新幹線の利便性向上**
かがやきの停車本数増加、駅と各拠点を結ぶ移動手段の整備

（3）持続可能な鉄道サービスの支援
利便性の向上や車に頼りすぎない住みやすいまちづくり

（4）**地域交通の再整備**
まちづくりと連携した地域交通の再整備

2　本市の地域交通における取組みの方針

越前市総合計画



優先的、重点的に取り組むチャレンジプロジェクト

プロジェクト⑨
まちなか「あそべる、くらせる」プロジェクト

ウォーカブルなまちづくりの推進

・観光サインの整備や地域の観光資源を活かした
　まちなかの周遊の推進
・ラストワンマイルの移動手段の検討

プロジェクト⑩
地域交通最適化プロジェクト

1　地域二次交通への対応
・タクシーの補完的な運行を検討
　新幹線の発着時間に合わせたシャトルバス
　乗り合いタクシー　　など

2　中山間地域でのデマンド型交通の導入
・自家用有償旅客運送によるデマンド型交通の展開

3　地域交通トライアル
・持続可能な地域公共交通ネットワークの形成
・自動運転やトランジットモール化の検討

2　公共交通再編検討調査について

調査目的：調査結果からの検証内容を市の現状や主な課題の整理に活用

(1)各種調査　　利用者に対する聞き取りやアンケート郵送を通じて、利用者ニーズや意識を把握

項目	対象	調査方法	主な調査項目	主な検証内容や目的
①市民バス	・市民バス利用者 ※平日及び土曜日の各1日(全11ルート)	・車内で直接ヒアリング ・調査票配布、郵送回収	・利用状況 (頻度、利用区間、目的など) ・その他の公共交通の利用状況 ・利用者の満足度、要望 ・来訪目的 (シャトルバス利用者に宿泊地、目的地など)	・満足度(ルート、運行日、時間帯、運賃等)を把握 ・デマンド交通への移行に向けた検討に活用
②デマンド交通	・全登録者	・郵送による配布・回収 (Web回答も可)		・外出機会増など、もたらされた効果、影響を把握 ・利用しない理由を把握し、導入時の見直し検討に活用
③シャトルバス	・シャトルバス利用者	・越前たけふ駅の改札口や停留所で直接ヒアリング ・調査票配布、郵送回収		・新幹線駅からの移動状況を把握 ・利用者の満足度(ルート、時間帯、運賃、利用しない理由等)を把握し、運行形態の見直し検討に活用

2　公共交通再編検討調査について

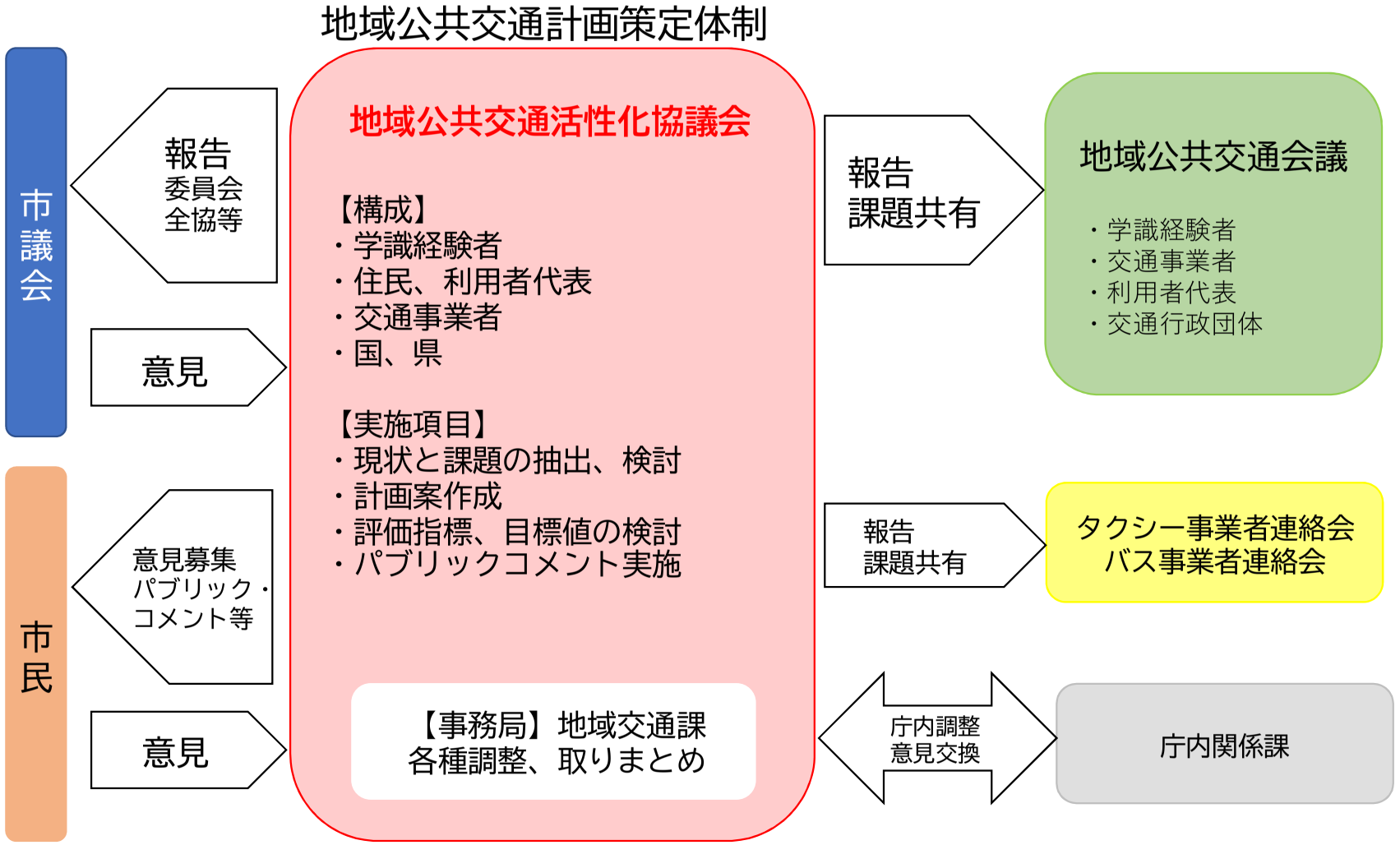
（2）市民アンケート調査

対象	調査方法	主な調査項目	主な検証内容や目的
・市内の18歳以上の市民を無作為抽出 ・市内高校生 ・市内の65歳以上の市民を無作為抽出	・郵送による配布・回収 （3,000部配布、Web回答も可能）	①　移動実態 　買い物、通院、通勤・通学、その他の外出の4つの外出動向 ②　公共交通の利用について 　市内公共交通（路線バス、市民バス、シャトルバス、鉄道等）の利用頻度、満足度、改善要望 ③　デマンド交通実証実験の認知度、必要性についての意見 ④　今後の公共交通についての意見	・公共交通に対して市民が求める要素から課題を抽出 ⇒公共交通施策の見直しや方向性を検討 ※高校生に対しては、学生目線でのニーズを把握 ※高齢者目線でのニーズや免許返納に伴う移動の課題、意向について把握

（3）路線バス、その他の公共交通の利用実態と分析（自家用有償旅客運送、ハピラインふくい、福井鉄道福武線など）

⇒　運行事業者からのデータを整理、利用実態の状況と分析を行う。

4　地域公共交通計画策定体制



５　計画策定スケジュール

令和６年６月（6/5）	第１回地域公共交通活性化協議会
７～８月	第２回地域公共交通活性化協議会（骨子案）
１１月	第３回地域公共交通活性化協議会（計画案）
１２月	パブリック・コメント（意見募集）
令和７年１月	第４回地域公共交通活性化協議会（計画案）
３月	計画案市長報告 計画決定

※庁内関係各課と、ワーキンググループ会議を随時開催

※議会に随時説明（全員説明会、議員説明会、委員会等）